

## 会場のご案内



- 鉄道／近鉄名古屋線津駅下車、JR紀勢本線津駅下車、伊勢鉄道津駅下車
- バス／三重交通路線バスで津駅西口から約5分
- 徒歩／津駅西口から約25分
- 自家用車／伊勢自動車道 芸濃インターから約15分  
伊勢自動車道 津インターから約10分

※混雑が予想されますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。  
※団体バスでのご来場の場合は必ず事前に実行委員会事務局までご連絡ください。

第7回 全国校区・小地域福祉活動サミットinみえ

# みえます きてます 小地域の時代

開催日 **2013年11月28日** 木

会場 **三重県総合文化センター**

### 参加申し込みについて

- 参加にあたっては、本開催要綱に封入の「参加・宿泊・交流会等の申し込みのご案内」をよくお読みいただき、「第7回全国校区・小地域福祉活動サミットinみえ」参加申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXまたは郵送でお申し込みください。
- 参加にあたっては、参加費3,500円の事前振込みをお願いします。
- 10の分科会の中から、それぞれ希望する分科会番号を第3希望までご記入ください。ただし、会場定員数の関係で、希望される分科会にご参加いただくことができない場合がありますのでご了承ください。
- 参加にあたって、手話通訳・要約筆記・車イス補助等が必要な場合は、参加申込書備考欄に希望することを具体的にご記入してください。

### 参加券の送付について

参加申込書により、参加費用請求書と参加券を郵送いたします。グループでお申込の方に関しては、代表者に一括して送付します。

### 申込締切日

**2013年10月25日(金)** ※ただし、会場の都合により、定員1700人に達した時点で申し込みを締め切らせていただきます。

参加申込に関する  
お問い合わせ先

トップツアー株式会社(仙台支店)

〒980-0021宮城県仙台市青葉区中央1-6-18日石仙台ビル3F  
TEL/022-263-3232 FAX/022-265-5765 (営業時間) 平日9:00~18:00(土日祝/休み)

「第7回 全国校区・小地域福祉活動サミットinみえ」実行委員会

事務局:全国コミュニティライフサポートセンター(担当:田村・小野寺麻衣)  
〒981-0932 宮城県仙台市青葉区木町16-30 シンエイ木町ビル1階  
TEL/022-727-8730 FAX/022-727-8737 URL:http://www.dlc-japan.com

主催:「第7回全国校区・小地域福祉活動サミットinみえ」実行委員会  
三重県社会福祉協議会/小地域福祉活動を楽しむ全国ネットワーク  
全国コミュニティライフサポートセンター  
共催:三重県内各市町社会福祉協議会

Supported by  **THE NIPPON FOUNDATION**

# 開催趣旨

小・中学校区あるいは町内会・自治会などの日常生活圏域で、地域福祉活動に取り組む多様な主体が一堂に会し、実践交流を通じて活動の幅を広げ、日々の活動の質を高め合うことを目的に開催します。

**第7回 全国校区・小地域福祉活動サミットinみえ** **みえます きてます 小地域の時代**

**開催日** 2013年11月28日(木)

**会場** 三重県総合文化センター  
三重県津市一身田上津部田1234

**定員** 1,700人(先着順)

**参加費** 1人3,500円 ※交流会に参加される場合は別途5,000円が必要です。

**交流会** 1人5,000円

**参加申込締切** 2013年10月25日(金)

## プログラム

11:30~12:30	受付
12:30~12:50	開会 ●開会挨拶 「第7回全国校区・小地域福祉活動サミットinみえ」実行委員会 ●来賓挨拶
12:50~13:35	基調対談 「ひとりの“困った”を、みんなの“良かった”に ～誰かの困りごとは、地域が良くなるチャンスです～」 ◆講師 特定非営利活動法人 暮らしづくりネットワーク北芝 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 事務局長 池谷 啓介 教授 藤井 博志
13:35~13:50	移動・休憩
13:50~15:50	分科会 P3~6をご覧ください。
15:50~16:05	移動・休憩
16:05~17:25	まとめのディスカッション 「みんなの力で地域を元気に」 三重県の小地域福祉活動における特徴は、多様な主体が参加していることにあります。ひとつの団体だけが頑張るのではなく、いくつもの団体が、それぞれできることを少しずつ持ち寄りながら課題を解決していく取り組みは、これからの地域福祉のひとつのあり方ではないでしょうか。異文化をつなぎながら切り拓く地域福祉の未来を、参加者のみなさんと一緒に考えます！ ◆登壇者 四日市市塩浜地区 松阪市 伊賀市社会福祉協議会 石田 静代 市長 山中 光茂 事務局長 平井 俊圭 ◆コメンテーター 関西学院大学 人間福祉学部 教授 牧里 每治 ◆コーディネーター 皇學館大学 現代日本社会学部 教授 守本 友美
17:25~17:40	閉会(大会旗引継・閉会挨拶)
18:00~20:00	交流会

# 分科会実践報告団体 活動概要一覧



## 分科会 1

### 「校区・小地域福祉活動 入門編 ～私だけ？誰かが？いいみんなまで小地域活動～」

地域で何か活動をしたいけれど、どこから手をつけたら良いのかわからない。今の活動がマンネリ化していて、地域の課題解決につなげていない。そんな悩みにお答えします。実践事例をもとにしながら、次の一步の踏み出し方、あなたも一緒に考えてみませんか？

- 実践報告**
- 三木浦地区福祉委員会(三重県尾鷲市) 会長 大西 正隆
  - 高松地区社会福祉協議会(三重県川越町) 会長 筒井 宏幸
  - 日吉台学区民生委員児童委員協議会(滋賀県大津市) 会長 呉屋 之保
- コーディネーター**
- 関西学院大学 人間福祉学部 教授 牧里 每治

<p><b>三木浦地区福祉委員会</b></p> <p>地域の福祉問題を発見し、解決にむけて行動することで、「地域みんなで助け合って、高齢者も子どもも安心して暮らしてゆける地域づくり・住みよいまちづくりの実現」を目指します。小学校等とも連携し、高齢者向けのサロンや訪問活動等を実施しています。地域のニーズに即した活動(ベンチ作り等)にも取り組んでいます。</p>	<p><b>高松地区社会福祉協議会</b></p> <p>高松地区社会福祉協議会は、2010年度に「高松地区福祉活動計画」を策定しました。「笑顔であいさつ ふれあいのまち 高松」を合言葉に、その計画を基にしたさまざまな地域福祉活動を展開しています。また、計画策定後も定期的に会合を持ち、計画の見直し、地域の現状把握、課題の解消などに努め、現在進行形で地域づくりを進めています。</p>	<p><b>日吉台学区民生委員児童委員協議会</b></p> <p>日吉台地区は、約35年前に比叡山の麓にある新興住宅地として開発されました。現在は、高齢化率36%超と市内2番目の高さとなっています。独居高齢者や高齢者世帯も多く、高齢者の孤立を防ぐためサロン活動や、住民相互が支え合う事業を展開しています。</p>
---	--	---

## 分科会 2

### 「地域自治組織における持続可能な 小地域福祉活動の開拓者たち」

どんなに小さな集落でも、どんなに新しい住宅地でも、自分たち自身でできることを増やしなが、自治能力を高めていくこと、それが、「小規模多機能自治」です。全国各地で誕生している「地域自治組織」は、従来の自治会や、校区(地区)社協、福祉委員会といった従来の枠組みではなく、新しい公共の担い手として、まちづくりを基盤とした小地域福祉活動を展開しています。本分科会では、地域自治組織と呼ばれる新しい組織によって、持続可能なまちづくりを進めている開拓者の挑戦から、21世紀型小規模多機能自治の本質に迫ります。

- 基調講演・ワンポイント解説**
- 島根県中山間地域研究センター 統括監 藤山 浩
- 実践報告**
- 桐ヶ丘地区住民自治協議会(三重県伊賀市) 事務局長 岩間 勝
  - 海潮地区振興会(島根県雲南市) 副会長 加本 恂二
  - 川根振興協議会(広島県安芸高田市) 会長 辻駒 健二

<p><b>藤山 浩</b> (島根県中山間地域研究センター)</p> <p>1959年、島根県生まれ。一橋大学経済学部卒業後、(株)中国・地域づくりセンター等を経て、現職。島根県中山間地域研究センター研究企画監、島根県立大学連携大学院教授を務める。国土審議会長期展望委員会、中山間地域等直接支払制度等に関する第三者委員会委員をはじめ、国・県委員多数。近著は『これで納得!集落再生-「限界集落」のゆくえ-』(共著、ぎょうせい)。</p>	<p><b>桐ヶ丘地区住民自治協議会</b></p> <p>地区で蓄積した世帯情報を基本に、要援護者や乳幼児の条件検索、ペット情報や病気など、特別な事情の抽出もできるシステムづくりに着手しました。登録した情報が住宅地図にも反映できる、画期的なシステムです。地域情報の一元化により、役員交代による引継ぎの簡略化も期待できます。</p>
<p><b>海潮地区振興会</b></p> <p>海潮地区は、雲南市の東の玄関口で松江市に隣接した位置にあり、世帯数500戸、人口は約2,000人の地区です。海潮には、日本初の宮「須我神社」や八雲山、国の天然記念物「海潮のカツラ」、海潮温泉など、多くの見どころがあり、ホテル・神楽の里でもあります。</p>	<p><b>川根振興協議会</b></p> <p>廃校跡に建設した交流拠点施設「エコミュージアム川根」や住民が集まり、食事を一緒にとって帰る月3回の自主運営によるサロン、住民からカンパを募り、自分たちで運営する商店やガソリンスタンドなど、地域全戸が加入する「川根振興協議会」が中心となって地域づくりに取り組んでいます。</p>







### 分科会 3 「女性リーダーが斬る ～地域活動に今求められるもの～」

地域や社会で活躍する女性は増え、今や男性を凌ぐほど。小地域福祉活動では、女性の活動がなければ成り立たない状況です。一方自治会・町内会活動では、まだまだ少数派で、これから女性ならではの役割が求められています。地域づくりに女性の視点が大きいと求められる今を語り合ってください。

<b>円卓会議</b>	駒ヶ根市町四区二町内7組(長野県)	梶田 ひと美
	瀬田学区社会福祉協議会(滋賀県大津市)	副会長 内田 秀美
	鈴鹿市広瀬町自治会(三重県鈴鹿市)	元会長 豊田 栄美子
	特定非営利活動法人伊賀の伝丸(三重県伊賀市)	代表理事 和田 京子
	三重県民生委員児童委員協議会	会長 石田 静代
	三重県ボランティア連絡協議会	会長 泰道 詞子
<b>コーディネーター</b>	特定非営利活動法人 赤目の里山を育てる会(三重県名張市)	理事長 伊井野雄二
	鈴鹿市立白子公民館(三重県)	館長 杉谷 哲也

**梶田 ひと美**  
(駒ヶ根市町四区二町内7組)

1953年、長野県木曾生まれ。1973年小学校家庭科教師、栄養士となるが、長男の出産を期に退職。1985年、夫の勤務によりユーゴスラビア首都ベオグラードへ。1988年、駒ヶ根市へ移住。駒ヶ根市赤穂公民館勤務後、駒ヶ根市初の女性分館長を勤める。2002年、駒ヶ根市社会福祉協議会福祉活動振興係主任(地域福祉コーディネーター・こまちゃん宅福便・いきいきサロン担当)2011年、駒ヶ根市社会福祉協議会パート職員になり、仕事半分、地域のこと半分の毎日。

**内田 秀美**  
(瀬田学区社会福祉協議会)

1998年～2007年の瀬田学区地域女性会役員を皮切りに、2000年～2005年瀬田学区社会福祉協議会理事、2002年～2005年瀬田学区地域女性会会長、2010年～2011年更生保護女性会瀬田支部副支部長などを歴任。現在、瀬田学区ふれあい給食委員会委員長、瀬田学区社会福祉協議会副会長、青少年健全育成瀬田学区民会議会長、瀬田学区健康推進協議会副会長を務めています。

**豊田 栄美子**  
(鈴鹿市広瀬町自治会)

公務員の夫と23歳で結婚し、子どもは2男1女で長男は結婚しています。38歳のとき、親と同居し農業を始めました。生活改善グループ(全国組織)の会員の中から農協理事、農業委員等女性の参画運動が始まり、世帯数220軒の田舎ですが、自治会役員選任でもめていましたので、平成18年副会長に立候補しました。19年から3年間、自治会長を、22年に副会長、23年に監査役を務めました。自治会役員の活動は終わりましたが、23年から地域のお年寄りや3歳までの乳幼児と親の会「のびのびいきいきサロン」を開き、地域で活動しています。

**和田 京子**  
(特定非営利活動法人伊賀の伝丸)

三重県伊賀市出身。1児の母。10年間、東京宝塚劇場などの商業演劇で俳優として舞台上に立ち、1992年から3年半インドネシア首都ジャカルタに在住。外国人として住みたいへんさ、言葉の壁に直面。帰国後、会社勤めの傍ら、通訳NPO「伊賀の伝丸」を設立。2003年会社を辞め、団体事務所をオープン。2005年4月NPO法人として登記。多文化共生社会の推進に取り組んでいます。

**石田 静代**  
(三重県民生委員児童委員協議会)

1983年12月に四日市市で民生委員児童委員に就任以来、約30年に渡って地域の身近な相談者としての活動を続けるとともに、四日市市、三重県民生委員児童委員の代表として、指導力を発揮。そのほかに、四日市市社会福祉協議会副会長、三重県社会福祉協議会副会長等を歴任しています。

**泰道 詞子**  
(三重県ボランティア連絡協議会)

1990年から朗読講師を行いながらボランティア活動を行い、1991年4月から伊勢市ボランティア連絡協議会会長に就任。2000年6月から三重県ボランティア連絡協議会会長に就任し、現在まで三重県のボランティアの代表として活躍しています。そのほかに、伊勢市人権擁護委員協議会会長、伊勢市大湊町高齢者通所センター「いこい」センター長、三重県人権擁護委員連合会副会長、三重県社会福祉協議会理事等を歴任しています。

### 分科会 4 「地域を活性化する田舎(いい仲)力 ～人+自然+アイデアで地域を育む～」

暮らしの資源でもある田畑や山林は高齢化とともに担い手不足等の課題を抱えています。その土地の資源を活かしてみんなが楽しむ場につくり変え、福祉教育やコミュニティビジネスへと広げながら地域を活性化している事例があります。「人+自然+アイデア」が地域づくりの可能性を生み出すことについて、みなさんと語り合います。

<b>実践報告</b>	特定非営利活動法人 生ごみリサイクル亀さんの家(三重県松阪市)	代表 亀井 静子
	波瀬むらづくり協議会(三重県松阪市)	事務局長 向東 克己
	おおにし農業小学校(福岡県八女市)	事務局長 斉藤 英義
<b>コーディネーター</b>	皇學館大学 現代日本社会学部	准教授 板井 正吉

**特定非営利活動法人 生ごみリサイクル亀さんの家**

2004年より、農業に関わる高齢者とともに生ごみの堆肥化に取り組んでいます。その堆肥で育てた有機野菜は美味しく安全であると評判を呼び、地元のレストランや直売所で販売され、高齢者の生きがいも育んでいます。堆肥と野菜と人とのつながり、いきいきと暮らす地域づくりに取り組んでいます。

**波瀬むらづくり協議会**

2009年より休校中の小学校を拠点に、地域の自然や文化・歴史・産業を体験することができる学習プログラム「生きるを学ぶ」を考案。2011年より住民がインストラクターとなり、市内の小中学生などを受け入れ、地域のたいせつな資源である「山・川・里」の3つをキーワードに、「生きる」ことを体験とおして学ぶ機会を提供しています。

**おおにし農業小学校**

過疎高齢化が進む集落の住民が地域を元気にしようとする季節ごとの農業・農村体験ができる「おおにし農業小学校」を開校。田畑が教室で、先生は地区の住民。農業体験を希望する若者男女すべてが生徒で、田舎(いい仲)体験活動を提供し、人びととの交流を深めています。

### 分科会 5 「さあ、はじめよう みんなの地域づくり ～ニュータウン&オールドタウン～」

高度成長期にかけて開発され、ニュータウンと呼ばれた地域は、年月を経てオールドタウンと呼ばれるようになり、さまざまな地域の課題が表面化してきています。一方で、新興住宅地などに新しい家やマンションは建ち続け、同じ世代の人たちがそこに居住し、かつてのニュータウンと同じ光景が広がります。いずれは同じ課題を抱える可能性のある団地(ニュータウン)と、現在課題を抱えている団地(オールドタウン)における地域づくりのポイントである人と人との「つながりづくり」について学び合います。

<b>実践報告</b>	桑名市新西方地区(三重県)	池谷 実
	ライフサポート三重西(三重県四日市市)	事務局長 菅瀬 博文
	特定非営利活動法人ワーカーズかすがい(愛知県春日井市)	理事長 森長 節子
<b>コーディネーター</b>	名古屋柳城短期大学 保育科	准教授 長谷中崇志

**桑名市新西方地区**

名古屋圏域のベッドタウンとして造成が進み、人口が増え続けている新西方地区。住民の声により設立されたコミュニティセンターを中心に、自治会・地域住民・関係団体などが協力して定期的なサロンやイベントの開催など、すべての世代を巻き込んだ地域のつながりづくりを進めています。

**ライフサポート三重西**

団地建設以来40年が経過し、高齢社会の本番を迎えています。住み慣れた地域で生涯を過ごすために、日常生活で発生する困りごとに対して、顔の見える人間関係づくり、地域の住民が組織的に助け合う事業を組織的に展開しています。

**特定非営利活動法人ワーカーズかすがい**

1997年に高蔵寺ニュータウンの女性を中心に、このまちで暮らしていくために足りないものは自分たちでつくりだそうと、「ワーカーズかすがい」を立ち上げました。地域課題である少子高齢化をプラスにとらえ、地区社協との共同事業を展開しています。

### 分科会 6 「みんなで考え、未来につなげる “医・食・住”」

過疎が進む集落のなかで「医療」を通じて、自分が暮らす地域・家で安心して暮らし続けられる仕組みづくりが進められています。公的サービスを受けられずにいる人の受援力を高める方法や、課題解決を働きかける外からの力(手法)を、事例をとおして学び、安心して暮らし続けられる地域になるために必要な仕組みや意識について考えます。

<b>実践報告</b>	三重県地域医療研修センター(三重県御浜町)	センター長 奥野 正孝
	丹生川診療所(岐阜県高山市)	所長 土川権三郎
<b>コーディネーター</b>	中部学院大学 短期大学部	准教授 大井智香子

**奥野 正孝**  
(三重県地域医療研修センター)

三重県内のへき地勤務を経て、自治医科大学で全国初の「地域医療学講座」を開講。その後、若い時代を過ごした神島診療所(三重県鳥羽市の離島)に通算17年勤務。「私の専門は神島です」という言葉は、地域医療の世界では広く知られています。現在は、地域医療研修センター長として人材育成に務めています。

**土川 権三郎**  
(高山市国民健康保険丹生川診療所)

地域医療に熱心な名古屋市内の病院に勤務後、故郷の丹生川村(現高山市)に戻り、丹生川診療所の所長に就任。市町村で日本一大きい高山市の広大な山村の患者を引き受け、日々往診を重ね、丹生川地域の在宅医療を支援するシステムづくりに尽力し、住民の大きな信頼のもと、「安心」を支えています。

### 分科会 7 「子どもの居場所をつなげる地域の輪づくり」

人と人が出会う場づくり。地域の子どもの育つ環境を整える活動を行えば、他の世代にも自然とつながりができます。人と人のつながりを感じながら、子どもが育つこと、その地域との関わりの中で親が育つこと、その親子を支援する風土が地域で育つことこそが、豊かな育ち合いの地域力を生み出します。子どもたちが人とのつながりを感じ合える地域社会をたいせつにし、子どもの居場所を中心とした地域福祉活動を展開する事例を紹介しします。

<b>実践報告</b>	特定非営利活動法人体験ひろば☆こどもスペース四日市(三重県)	水谷 孝子
	美里地区民生委員児童委員協議会(三重県津市)	吉川 郁子
	特定非営利活動法人ハートフレンド(大阪府大阪市)	徳谷 章子
<b>コーディネーター</b>	種智院大学 社会福祉学科	講師 近棟 健二

**特定非営利活動法人 体験ひろば☆こどもスペース四日市**

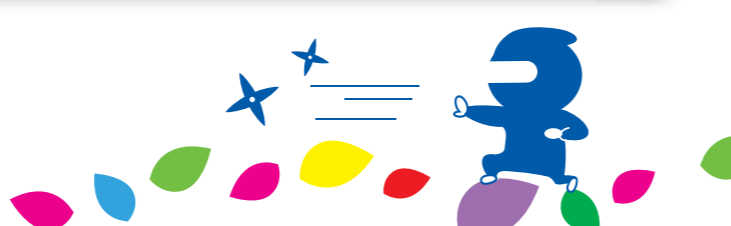
子どもたちが全人的に成長するために、文化芸術体験をはじめとしたさまざまな体験ができる場をつくり、また環境を整え、子どもたちが「たった一度しかない子ども時代」を豊かに過ごすことを願い、その手助けとなる活動をしています。

**美里地区民生委員児童委員協議会**

美里町はもともと地域のつながりがある地域です。「こころ広場」は、町外から嫁いできた母親の孤立防止や子育てを共感できる仲間づくりなどを目的にしている「子育て仲間づくり支援事業」です。民生委員児童委員と地区社会福祉協議会が中心となり、2009年から毎月1回開催しています。

**特定非営利活動法人ハートフレンド**

ハートフレンドは、地域の子ども会から生まれたNPO法人で、地域のすべての子どもたちの居場所づくりと乳幼児から高齢者までが集えるコミュニティの場づくりに取り組んで活動しています。







## 分科会 8 「みえるつながり みる喜び ~つながりつくる買物支援のあれこれ~」

高齢化や過疎化が及ぼす生活課題である『買物』にスポットをあて、買物支援を中心に、ほかの地域課題(外出支援や交流支援、見守り支援、地域内の支援ネットワーク化)に取り組む事例を紹介し、活動に至るまでの苦労話や失敗談も交えながら、これからの活動に活かしてみませんか？

### 実践報告

脇之島地域福祉協議会(岐阜県多治見市) 会長 鎌田 昭夫  
「いいね!大羽根地域」まごころサポート(三重県菟野町) 代表 安田 順子  
特定非営利活動法人ゆいの里(三重県伊賀市) 理事長 藤井 明和

### コーディネーター

文京学院大学 人間学部 准教授 中島 修

#### 脇之島地域福祉協議会

脇之島地域福祉協議会は、1981年に分譲が始められた新興住宅団地の中に設立されています。近い将来、団地内の高齢化率が40%を超えることが予想されるなか、住民同士がお互いに助け合うという理念のもと、買物支援をはじめ、さまざまな活動に取り組んでいます。

#### 「いいね!大羽根地域」まごころサポート

「介護しつつ自分の人生をたいせつにしたい、介護される側の人生もたいせつにしたい、それを助け合えるシステムをつくりたい」という思いで、2011年にまごころサポートを立ち上げました。今では、お年寄りから若い方までちょっとした困りごとのお手伝いをしています。

#### 特定非営利活動法人ゆいの里

日常生活圏域における「地域包括ケアシステム」の構築、また、「住み慣れた地域で暮らし続けることができる」地域づくりを目指すため、地域の社会資源と連携し、課題の解決や在宅生活を維持継続していくために不可欠なサービスの仕組みを整え、円滑に運用できる状態を創り出すことを目的としています。

## 分科会 9 「災害時要援護者を取り巻く地域活動のススメ」

東日本大震災をうけ、災害時要援護者に対する避難誘導や、避難所での生活が課題となっています。これらの課題を解決し、災害時における、地域を基盤とした要援護者の支え合いの仕組みづくりには、地域住民や自治会、さらにはボランティアの力が必要不可欠です。この分科会では、実例をとおして、支え合いの仕組みづくりのプロセスや課題を議論します。

### 実践報告

熊野市社会福祉協議会小阪支部(三重県) 支部長 滝爪 清  
熊野市社会福祉協議会(三重県) 地域福祉係長 岡本 知也  
志摩視覚障害者福祉会(三重県) 会長 小川 正次  
津市ボランティア協議会(三重県) 会長 萩野 茂樹

### コーディネーター

日本災害救援ボランティアネットワーク 常務理事 寺本 弘伸

#### 熊野市社会福祉協議会小阪支部

小阪支部は小学校区ごとにつくられた高齢者のための地域ボランティアです。地区にある飛鳥中学校の生徒と、これからの災害やボランティアについて共に考えるために、2011年に発生した台風12号の災害について話し合いながら、高齢者の見守りと災害を克服するための取り組みを行っています。

#### 熊野市社会福祉協議会

2011年の台風12号による被害を受け、地域では多くの方が復旧作業に関わっていました。この時の地域の力を今後起こりうる災害に備え活かせるように、今私たちにできることは何かを地域住民が主体となって考えるきっかけをつくるため、社協支部に出向き懇談会を開催しています。

#### 志摩視覚障害者福祉会

私たちの主な行事としては、県の行事をはじめ、支部内独自の行事から成り立っています。社会参加と自立を目的として支部行事は、年間6回程度のサポートを受けているガイドボランティアさんとの「あるこう会」をはじめ、女性部やボランティア部による奉仕治療や学校へ福祉体験教室に出かけて行っています。今は防災について取り組んでいます。

#### 津市ボランティア協議会

津市内各地区のボランティア連絡会が連携するネットワークです。加盟している約100のボランティア団体の活動範囲は、福祉分野をはじめ、環境分野やまちづくり活動など多岐に渡ります。多様な活動分野すべてに共通するものとして、防災分野にも力を入れています。東日本大震災や台風12号による水害被害では、ボランティアバスを運行し支援をしました。そこから得た経験を普段の活動にもフィードバックしながら、より具体的な「防災・災害時支援活動」を考え行動しています。

## 分科会 10 「地域でみえた活動の担い手」

今、若年層、勤労者層、団塊の世代、NPOといった新しい人材が、地域活動に参加しています。地域で活動しやすい環境づくりや、地域性を活かし工夫を凝らした取り組みを紹介しながら、地域活動の担い手を育むノウハウをみなさんと学び合います。

### 実践報告

特定非営利活動法人あいあい(三重県尾鷲市) 理事長 湯浅しおり  
伊勢市厚生地区まちづくりの会(三重県) 副会長 浦田 眞  
見守り隊キッズEyeボランティア(大阪府岬町) 長野 未佳

### コーディネーター

桃山学院大学 社会学部 教授 松端 克文

#### 特定非営利活動法人あいあい

「在宅を安心して暮らせる場所」にするためには、近隣同士の支え合いと「365日24時間ケア」を実践する福祉と医療のチームケアが必要です。さまざまな関係機関と手をつなぎ、在宅ホスピスを確立し、みんなが笑顔で暮らすために柔軟性をもった地域の構築を目指しています。

#### 伊勢市厚生地区まちづくりの会

ここに住むことを喜び、誇れるまちづくりを基本理念とし、地区全体の住民に呼びかけ、5つの委員会を設置しています。自分たちの住む地区のあるべき姿(ビジョン)、そのためにやっていくべきこと(アクションプラン)を話し合い、それをもとに実際に活動しています。

#### 見守り隊・キッズEyeボランティア(岬町社会福祉協議会)

子どもが地域の方と協働しながら独居高齢者等のお宅へ見守り訪問活動を行っています。子どもの情動的な成長に有益となるような学びや気づきを与えることで「住民の認識の変容」につなげ、子どもだけではなく「地域愛」を育む環境づくりを目指しています。

## 出展ブース・資料配付について 2013年 11月15日(金)申込締切

会場内で小地域福祉活動を紹介するブースを設けます。日頃の活動の紹介ほか、出版物や授産品・物産品の頒布などにご利用いただけます。希望される方は事務局までお問い合わせください。

**募集数** 15団体  
(応募多数の場合は選考させていただきます)

**条件** ①出展できるのは、小地域活動を行う団体に限ります。  
②ポスターなどの展示もしくは授産品・物産品などの頒布を行う場合に限ります。  
③1団体1ブースまで。1ブースにつき、机1本とパネル1枚を用意します。(サイズ 机:W1800×D450 パネルH1800×W900)  
④小地域福祉活動を紹介する団体のパンフレットやチラシを配布できるコーナーを設けます。希望される方は事務局までお問い合わせください。

**出展料** 無料  
※ただし、出展者はサミットへの参加申し込みが必要です。

**問合先** 三重県社会福祉協議会 総務企画部 地域福祉担当(第7回全国校区・小地域福祉活動サミットinみえ 現地事務局)  
TEL.059-227-5145 FAX.059-227-6618 ※詳細は、申し込み団体あてに、改めてご案内いたします。

## 2日目 オプショナル企画 2013年11月29日(金)

### ① 桜ボランティア協会(四日市市)

参加費 1,850円(昼食代込) 定員 30人まで ■現地集合

地域の困りごとを自分たちで解決しようと、四日市市桜地区の住民を主な会員として設立されました。住民同士が対等な関係で相互に助け合うことで、助け合いの輪を広げ、安心して暮らし続けられるまちづくりを目指しています。

10:00 ばんこの里会館着 陶芸の絵付け体験(マグカップ・湯呑・お皿)  
※体験作品の配送料金は、別途必要。配送先までの料金となり、1個でも30個でも同料金。  
12:00 ワンデイシェフ「にじいろの堂」  
(毎日、違うシェフが違う食材でランチをお出しします)  
13:00 ばんこの里会館出発  
13:15 四日市市総合会館着  
13:30 桜ボランティア協会(助け合い・送迎サービス)意見交換  
15:00 終了

### ② 神原地区社会福祉協議会(津市)

参加費 800円(昼食代込) 定員 30人まで ■現地集合

小学校の空き教室に事務所を設け、託老所や訪問による高齢者の見守り活動などに取り組んでいます。学校の休憩時間には、子どもたちが遊びにやってきます。事務所は、地区社協にとっては活動拠点ですが、子どもたちにとっては、教室を超えた地域の社会資源を利用した学びの場となっています。住民の誰もが気兼ねなく助けを求められ、助け合える地域づくりに向けて、新たな活動にも取り組んでいます。

10:00 津市立神原小学校集合  
「ふくしの心を育てる小地域福祉活動」をテーマにした交流視察

12:00 昼食  
(おかあちゃんたちがつくる季節のあったか昼御膳)

### ③ 桐ヶ丘住民自治協議会(伊賀市)

参加費 2,390円(昼食代込) 定員 30人まで ■現地集合

分科会2「地域自治組織における持続可能な小地域福祉活動の開拓者たち」でも紹介されている『桐ヶ丘支え合い体制支援システム』を活用した取り組みが特徴。このツアーでは、実際に現地でシステムの操作などを見ることができ、また、『自ら生産し加工し販売する』1次産業から3次産業まですべてを行う『6次産業』を実践する新しい農業に挑戦しているモクモク手作りファームで昼食をとり、見学します。

10:00 桐ヶ丘地区市民センター集合(桐ヶ丘住民自治協議会)  
「桐ヶ丘高齢福祉・支え合いシステム」のデモンストレーション  
12:00 モクモク手作りファームへ移動(昼食)  
13:00 モクモク手作りファーム見学  
15:00 モクモク手作りファームで解散

### ④ 伊勢神宮参り(伊勢市)

旅行代金 6,500円(昼食代込) 最少催行人員 30人 ■貸切バス利用  
■添乗員付

伊勢神宮では20年に1度、神さまをまつる社殿を建て替え、御神体をお遷しする式年遷宮が本年行われています。伊勢神宮の大きな特徴は、社殿を建てる地が二つあるということです。伊勢の神さまは20年ごとに移ることを繰り返してきました。その儀を迎える伊勢神宮を中心に名所を訪れます。

8:30 津駅出発  
9:30~10:30 伊勢神宮(外宮)・参拝 ※せんぐう館は希望者のみ(¥200別途)  
10:50~11:50 伊勢神宮(内宮)・参拝  
11:50~12:30 神宮内・昼食 ※和定食(飲み物代は各自)  
12:30~13:30 おかげ横丁・買物 ※自由行動  
13:50~14:30 二見ヶ浦/夫婦岩・見学  
15:30 津駅到着(解散)

## 全国社会福祉協議会主催 平成25年度 「地域の福祉力セミナー」のご案内

地域の生活課題に対して、社協・行政・専門機関・ボランティア・NPOなど地域の多様な主体が協働し、積極的に地域に働きかけていくことで、社会資源の開発などを行いながら総合的に解決を図っていく取り組みから、「地域の福祉力とは何か」をあらためて考えます。

**日時** 平成25年11月29日(金) 開会/10:00(予定) 閉会/15:30(予定) **会場** 三重県津市アストプラザ **定員** 200人 **参加費** 5,000円

**内容** ●午前(講義)「地域の生活課題の解決へ向けた地域の福祉力とは」(予定)  
●午後(シンポジウム)「地域の福祉力向上をめざして~制度横断型による総合的な地域課題のあり方を探る(予定)」

※開催要綱・申込書は、近日中に右記ウェブサイトに掲載いたします。 全社協地域福祉・ボランティアネットワーク <http://www.zcwvc.net/>